

かわいいですか？
それとも
かわいそうですか？

人間にもっとも身近な動物である犬と猫が
平和に安全に暮らせる社会は、きっと人にも優しいはず。
だから、自分の周りから変えてゆこう。
そのためのヒントを探してみよう。
この映画を見たあと、
そんなふうに考える人が増えてくれたら嬉しいです。

渡辺真子さん(作家/「捨て犬を救う街」)

町を歩けばあちこちで目にする光景があります。それは、散歩中の犬や、路地裏でくつろぐ野良猫たち——。しかし、全ての犬と猫が幸せな一生を送れるわけではありません。空前のペットブームの影で、日本で処分される犬と猫は年間30万頭以上。一日に1000匹近くが殺されている現実があります。あなたは、犬と猫たちのことをほんとうに知っていますか？

捨てられた犬と猫をめぐる旅が始まります

一人の猫好きのおばあさんの「不幸な犬猫を減らしたい」という思いから、この映画は生まれました。そして、犬と猫をめぐる旅が始まります。完成までには4年が費やされました。監督は、ドキュメンタリー映画「あしがらさん」で路上に生きる人々に寄り添った飯田基晴。犬と猫が歩くような低い視点から、人と犬猫の関係をしっかりと見つめます。映し出されるのは、鉄柵の向こうから悲しげな目で見つめる犬、行政施設に持ち込まれる生まれたばかりの子猫たち。更には、動物愛護先進国・イギリスの姿、捨てられた命を救うため奮闘する人々の苦悩。でもそんな重苦しい現実の合間に描かれる、動物たちのほのかなユーモアが心をほぐしてくれます。

犬と猫をとおして見えてくる人間の姿

動物には関心がないというひともいるかもしれません。でも、捨てられた命を懸命に救おうとする子どもや大人の姿から見えるのは、「いのち」への愛情です。捨てる人たちも、動物が嫌いな訳ではありません。そして、動物の処分を担う人たちにもまた、愛情があります。それは私たち人間が抱えるエゴと愛。捨てるのも人間なら、救うのもまた人間です。

「犬と猫と人間と」からは、知られざる多くの現実の先に、「かわいそう」という感傷を乗り越える、ささやかな希望がみえてくるはずです。

Dogs, Cats & Humans

犬と猫と人間と

飯田基晴 監督作品 (「あしがらさん」)

企画 稲葉恵子 撮影 常田高志・土屋トカチ・飯田基晴 音楽 末森樹 製作 映像グループ ローポジション
配給 東風 宣伝協力 スリーピン 助成 芸術文化振興基金 助
2009年/HD/16:9/日本/118min/documentary



10月ロードショー

特別鑑賞券¥1,400 (税込) 絶賛発売中

料金:一般 ¥1700 | 大学・専門学校生 ¥1400 | 会員・シニア ¥1200

「犬と猫と人間と」応援団募集:チラシなどの配布をご協力頂ける方を募集しております。info@inunekoningen.comまでお問い合わせ下さい。

特別鑑賞券を劇場窓口にてご購入の方には、化粧品動物実験に反対しているザ・ボディショップより「シャワージェル(60ml)」をプレゼント!(100個限定)

THE BODY SHOP.
http://www.the-body-shop.co.jp

渋谷・文化村前交差点左折

ユーロスペース

EUROSPACE

03-3461-0211

www.eurospace.co.jp

